

2020年12月22日

各 位

会社名 シダックス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 志太 勤一
 (JASDAQ コード番号 4837)
 問合せ先 執行役員兼グループ経営管理本部長
 松岡 秀人
 (TEL. 03-5784-8909)

2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月18日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2021年3月期の業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、本日、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	109,631	478	519	371	9.31
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	129,585	1,102	△127	△1,123	△28.18

業績予想の説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきまして、従来であれば「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表するところ、当時、新型コロナウイルス感染症の影響によって不透明な状況が継続するものと予想され、当社グループの業績を合理的に算定する事は困難なことから未定としておりました。今般、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響を当社グループにおける通期の連結業績予想に反映することが出来たので、公表いたします。

当社グループにおける現況といたしまして、第1四半期において特に影響が大きかったコントラクトフードサービス事業では、第2四半期以降、感染者数が比較的少ない地方において、休業もしくは短縮操業をしていた企業、工場及びキャンパス等の給食現場が概ね再開しております。一方で、大都市圏を中心に日々の新規感染者数が相当数残る地域については、在宅勤務、リモート授業などにより食堂の利用機会減少の影響を受けております。そのような中、非接触型の食事提供スタイルや在宅勤務等による食数減少に見合うローコスト運営の提案を積極的におこなう等、収益改善に取り組んでおります。また、トータルア

ウトソーシング事業では、新型コロナウイルス感染症下でありながら、学童保育事業が大きく現場数を増やしていることもあり、売上・利益ともに好調で、グループ全体としては収益力・財務体質が改善されつつあります。

このような状況のもと、2021年3月期通期の連結業績につきましては、売上高109,631百万円（前連結会計年度比15.4%減）、営業利益478百万円（前連結会計年度比56.6%減）、経常利益519百万円（前連結会計年度は127百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益371百万円（前連結会計年度は1,123百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を見込んでおります。

なお、当該業績予想どおりに推移した場合、当連結会計年度末時点において、複数の金融機関との間で締結しておりますシンジケートローン契約に規定する財務制限条項の「2021年3月期末における連結損益計算書に記載される営業損益を1,800百万円以上にすること」に抵触するおそれがありますが、新型コロナウイルス感染症の現状までの影響、今後の収束までの想定及び会社の対応策等を金融機関に説明することで、継続的な支援についてご検討いただいております。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

(参考情報)

セグメント別連結売上高の見通し

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)
コントラクトフードサービス事業	—	21,340	—
メディカルフードサービス事業	—	30,117	—
トータルアウトソーシング事業	—	53,930	—
エスロジックス事業	—	26,570	—
その他	—	3,012	—
消去	—	△25,338	—
連結売上高	—	109,631	—

当社グループはこれまで、報告セグメントを「コントラクトフードサービス事業」「メディカルフードサービス事業」「トータルアウトソーシング事業」「エスロジックス事業」の4つとしておりましたが、今般、当社グループの再成長戦略「Re-Growth」を推し進める中で、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントを「フードサービス事業」「車両運行サービス事業」「社会サービス事業」の3つのセグメントに変更する予定です。

変更の理由としましては、コントラクトフードサービス事業・メディカルフードサービス事業に関して、意識的にこれら事業の経営資源を共有して今後の事業展開を図ることが、顧客拡大・サービス改善の点からも利点が多く、将来の成長に結びつくことから、「フードサービス事業」として一体経営・管理している現状があります。また、エスロジックス事業におけるグループ内への食材物流機能を「フードサービス事業」に含め、一体として新たに経営・管理していることもあげられます。

また、2018年6月に㈱B&V社に対して売却（株式割合で81%）したカラオケ事業に関し、当第2四半期において当社が保有していた残りの19%の持分全てを㈱B&V社に売却し、カラオケ事業に関与する事が完全に無くなった結果、エスロジックス事業における当社グループ内部での食材・消耗品の取引は、コントラクトフードサービス事業、メディカルフードサービス事業に対するものが大半を占めたこともあげられます。

また、トータルアウトソーシング事業に含まれる「社会サービス事業」において、学童保育事業がコロナ禍の中でも受託件数をのばしており、事業セグメントとしての重要性が高まっていること、また、同様に「車両運行サービス事業」も事業セグメントとしての重要性が高く、社会サービス事業とは異なる性格の事業であり、別々に経営・管理していることも理由にあげられます。

変更後のセグメント別連結売上高の見通しは以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)
フードサービス事業	—	51,630	—
車両運行サービス事業	—	21,261	—
社会サービス事業	—	32,684	—
その他	—	5,972	—
消去	—	△1,916	—
連結売上高	—	109,631	—

2. 配当予想について

普通株式

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—	—	
前期実績 (2020年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

B種優先株式

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	—	—	30,000.00	30,000.00
当期実績	—	—	—	—	
前期実績 (2020年3月期)	—	—	—	21,369.86	21,369.86

C種優先株式

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	—	—	80,000.00	80,000.00
当期実績	—	—	—	—	
前期実績 (2020年3月期)	—	—	—	56,986.30	56,986.30

配当予想の説明

2021年3月期の普通株式に係る配当予想につきましては、上記「1. 業績予想について」に記載のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益となる見込みではありますが、今後早急に安定した財務基盤の強化を行うことと既存事業の更なる改善体制の構築が株主の皆様に対する責務との考えから、普通株式については期末配当を無配とさせていただく予定です。

2021年3月期の種類株式に係る配当予想につきましては、発行時に定められた発行要項に基づき、B種優先株式は1株当たり30,000.00円、C種優先株式につきましては1株当たり80,000.00円とさせていただく予定です。

以 上